

アンサンブル・オードブル 第2回演奏会

フレンチ・ピッチで聴く ヴェルサイユ宮廷の響き

マレー：3声の組曲集より 第2番ト短調

ラモー：合奏用クラヴサン曲集より 第1番ハ短調

クーラン：「諸国民—ピエモンテ人」より ソナタト短調

オットテル：2本のリコーダーのための組曲 第2番変ロ長調

オットテル：エアとブリュネット集より 3つの小曲

ボワモルティエ：5本のリコーダーのための協奏曲 第2番ハ短調

アンサンブル・オードブル

リコーダー：曾原良嗣、山本勉 フラウト・トラヴェルソ：曾禰寛純
バロック・オーボエ：石野典嗣 ヴィオラ・ダ・ガンバ：渡辺比登志
チェンバロ：篠田麗子

賛助出演：国枝俊太郎 リコーダー、フラウト・トラヴェルソ

今日ピリオド楽器によるバロック音楽演奏は、現代の標準ピッチより半音低い、いわゆるバロック・ピッチによるものが一般的です。しかし実際には、国や演奏場所などにより様々なピッチが用いられ、現存する当時の楽器からも、さらに低めのピッチが多用されていたことがわかります。今回演奏される曲も低めのピッチが適していると思われるので、現代より全音低いフレンチ・ピッチで演奏します。低いピッチの楽器群が紡ぎだす特有の響きをご堪能ください。

2011年 7月9日(土)

午後 1:30 開場

午後 2:00 開演

全席自由 2,000 円

松本記念音楽迎賓館

東京都世田谷区岡本2-32-15

駐車場のスペースはございませんのでご了承ください。

お問い合わせ

曾原 良嗣 (そはら よしつぐ)

03-3754-3549

forqueray@ab.auone-net.jp

